

在日米軍再編に関する中間報告についての要確認事項

- 1 現在の米軍航空施設である、嘉手納飛行場・三沢飛行場・岩国飛行場の三飛行場の米軍の状況（兵力等）
- 2 嘉手納飛行場・三沢飛行場・岩国飛行場の三飛行場における、現在の訓練の状況（訓練規模等）
- 3 移転についてどこの機関で、どのような内容を検討しているのか。
- 4 訓練の移転先について
次の三飛行場から
 - ・嘉手納飛行場（沖縄県） 沖縄市、読谷村、嘉手納町、北谷町
 - ・三沢飛行場（青森県） 三沢市、東北町
 - ・岩国飛行場（山口県） 岩国市次の五飛行場への訓練の分散と考えてよいのか。
 - ・千歳飛行場（北海道） 千歳市、苫小牧市
 - ・百里飛行場（茨城県） 小川町、鉾田町、玉造町
 - ・小松飛行場（石川県） 小松市、加賀市
 - ・築城（ついき）飛行場（福岡県）
行橋市、豊津町、椎田町、築城町
 - ・新田原（にゅうたばる）飛行場（宮崎県）
西都市、新富町
- 5 移転規模について
 - ・ 現在、三飛行場で行っている訓練の全てを、これらの飛行場からなくするのか。
 - ・ 三飛行場にも、ある程度の訓練機能を残すのか。
 - ・ 五飛行場全てに、訓練の分散を考えているのか。
 - ・ どのような規模で、移転を考えているのか。
（移転兵力数、常駐するのか、戦闘機数、訓練回数等）
- 6 訓練が移転された場合、これは恒久的なものとなるのか。
- 7 民間航空機への影響はどのように想定しているのか。

8 影響を受ける関係地域住民への説明について

影響を受ける関係地域住民への説明は、何時、誰が行うのか。

9 今後のスケジュールを詳細に示して欲しい

- ・ 「再編に関する勧告」の中で、「閣僚は、地元との調整を完了することを確約するとともに、事務当局に対して、これらの個別かつ相互に関連する具体案を最終的に取りまとめ、具体的な実施日程を含めた計画を2006年3月までに作成するよう指示した。」とあり、また「これらの具体案は、統一的なパッケージの要素となるものであり、パッケージ全体について合意され次第、実施が開始されるものである。」との表現があるが具体的な内容は。
 - ・ 計画が作成されるまでに、地元（影響を受ける関係地域住民を含む）の合意を得るのか。
 - ・ 計画が作成された後、地元（影響を受ける関係地域住民を含む）の合意を得るのか。